

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
ネットワーク産業論	3	前期	2	学科専門・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(まつざわ ゆうすけ) 松澤 祐介	UniProve を活用します。			

(英文科目名 Network Industries)

授業の概要

生活の中で不可欠な、交通、通信といったサービスは国・政府の規制と大きく関係しています。そのような「ネットワーク」によって成り立つ産業について、経済学的な分析とそれぞれのサービスの具体的内容、政策的課題を学びます。例えば、通学で使う鉄道の料金は、ラーメンの価格のようにお店(=事業者)が勝手に決めることは出来ませんが、それはなぜなのでしょう。一方で過疎化の進んだ地方での営業が「もうからない」からといって廃業(廃止)する自由はあるのでしょうか。少子高齢化する社会でこれらサービスはどのようにあるべきでしょうか。JAL が経営破たんした際、なぜ政府が「支援」したのか、なぜ地下鉄は「都営」「市営」なのか。政府の介入の度合いが大きい、サービス産業の分野を経済学的に分析します。

科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、グローバル経済コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。「政府」部門との関係が強く、ホスピタリティだけではとらえられない、鉄道や航空に代表される交通や電話といった電気通信など、「ネットワーク」に依拠する産業を、主として経済学的な観点から分析し、「初級経済学」での知識や、「公益事業論」との関連も踏まえた内容が展開されます。

ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1) 知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	◎	ネットワーク産業のサービス産業としての特性を学修することで、サービスの多様かつ多面性を説明できる。
(2) 汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。		
(3) 態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。	○	交通や通信などのネットワーク産業の特性を知ることでサービスとしての在り方を討議できる。
(4) 総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。		

授業の方法・講義手法の概要

講義で行います。新聞・雑誌記事や映像も用いて具体的事例を交えながら考えていく授業展開にします。

授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修／事後学修
1	ネットワーク産業とは:他のサービス業との違い、政府の役割を学びます。	事前学修:参考文献、履修要綱から講義の概要をつかむ(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
2	ネットワーク産業と経済理論(1):ネットワーク産業と規制について学びます。	事前学修:教科書の第2回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
3	ネットワーク産業と経済理論(2):ネットワーク産業の価格・料金設定の理論を学びます。	事前学修:教科書の第3回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
4	交通産業:総論として、明治以降の交通の発達と政府との関係を歴史的に学びます。	事前学修:教科書の第4回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
5	鉄道①:我が国の鉄道の発展、歴史的展開を学びます。	事前学修:教科書の第5回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
6	鉄道②:鉄道政策、地方鉄道の維持、世界の鉄道政策の傾向を学びます。	事前学修:教科書の第6回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
7	航空①:航空サービスの歴史的展開、空港整備の問題を学びます。	事前学修:教科書の第7回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
8	航空②:航空サービスと規制、その緩和の帰結を検討します。	事前学修:教科書の第8回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
9	高速道路:日本の道路政策、高速道路の財源、民営化を学びます。	事前学修:教科書の第9回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
10	地方の交通問題:人口減少社会での地方交通のあり方を検討します。	事前学修:教科書の第10回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
11	郵政:郵政3事業の展開、民営化をめぐる問題を学びます。	事前学修:教科書の第11回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
12	通信①:通信サービスの歴史的展開を学びます。	事前学修:教科書の第12回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)

13	通信②:通信サービスの民営化、料金体系のあり方を理論的に考察します。	事前学修:教科書の第 13 回該当箇所を読む(90 分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90 分)
14	放送:放送と政府との関係を学びます。	事前学修:教科書の第 14 回該当箇所を読む(90 分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90 分)
15	ネットワーク産業の政策的課題:効率性、政府の介入のあるべき姿を検討します。	事前学修:教科書の第 15 回該当箇所を読む(90 分) 事後学修:配布される全体のまとめとなる演習問題に取り組む(90 分)

成績評価の方法・基準

試験の成績(50%)と各授業での講義内容の復習のための提出課題の内容(50%)で評価します。

指定教科書

塩見英治 『現代公益事業- ネットワーク産業の新展開』 有斐閣 2011 年。

佐藤信之 『鉄道会社の経営』 中公新書 2013 年。

参考文献等

履修上の留意点

特になし。

実務経験